

---

# 第 43 期 株主通信

平成24年 4月 1日から  
平成25年 3月31日まで

---



**山梨ビュ-テ-工業株式会社**

**JASDAQ** (証券コード 5935)

## ● トップメッセージ

### ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げますとともに、当社第43期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期におけるわが国経済は、エコカー補助金の終了や海外経済の減速、日中摩擦を受けて景気の後退基調にありました。しかし第4四半期には国内消費の持ち直しや米国経済の復調に加え、政府の緊急経済対策、日銀の金融緩和策もあり、景気は回復の動きとなりました。

また、建設業界においても、震災復興関連工事を中心に市場環境は緩やかな回復方向にあるものの、企業の設備投資に対する姿勢は依然として慎重でありました。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は10,157百万円（前期比14.9%増）となり、その内訳は製品売上高が5,944百万円（前期比14.0%増）、請負工事が4,213百万円（前期比16.2%増）となりました。また、損益面におきましては、売上高が増加したことなどにより営業利益が592百万円（前期比86.7%増）、経常利益は538百万円（前期比118.7%増）となりました。しかし投資有価証券評価損72百万円、固定資産の減損損失172百万円を特別損失として計上した結果、当期純利益は115百万円（前期比30.9%減）となりました。

今後のわが国経済は、震災復興需要などによる設備投資の増加、海外経済の持ち直し、円安を主因とする輸出回復により、国内景気は緩やかな回復が続くものと思われれます。また、建設業界においては、公共投資で緊急経済対策の効果が見込まれることから、市場環境は回復に向かうものと予想されます。

このような状況のなか、高機能・高品質屋根の更なる織り込み活動に注力するほか、地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や防水屋根の戦略的事業展開を推し進めることで、お客様に信頼され、喜ばれる製品を提供し、広く社会に貢献することを目指します。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

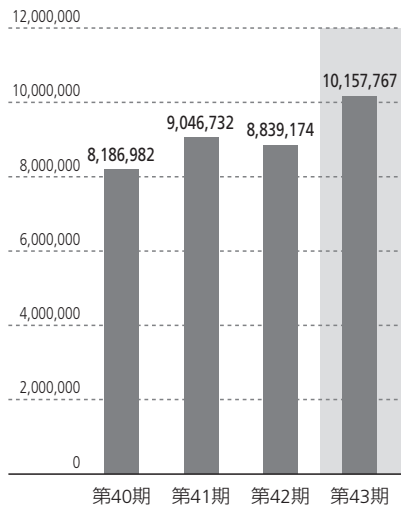


代表取締役社長  
高木 亮亮  
あきみず りょうりょう

## ● 財務ハイライト

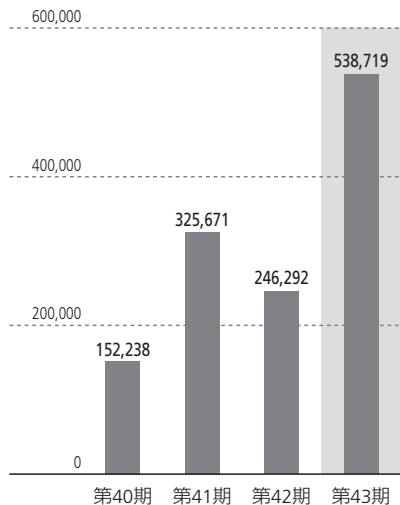
### ● 売上高

(単位：千円)



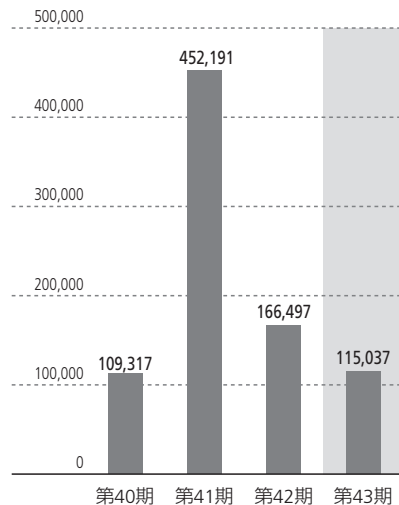
### ● 経常利益

(単位：千円)



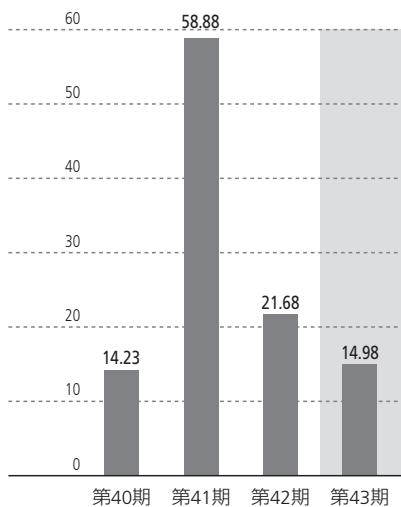
### ● 当期純利益

(単位：千円)



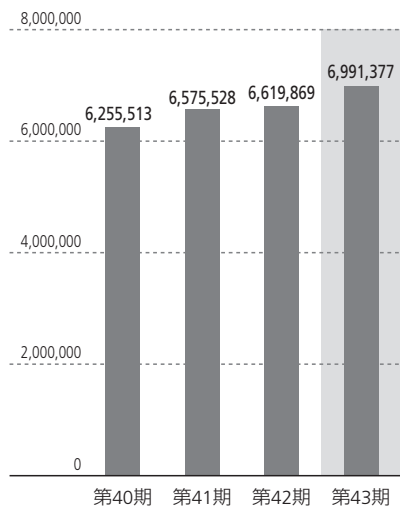
### ● 一株当たり当期純利益

(単位：円)



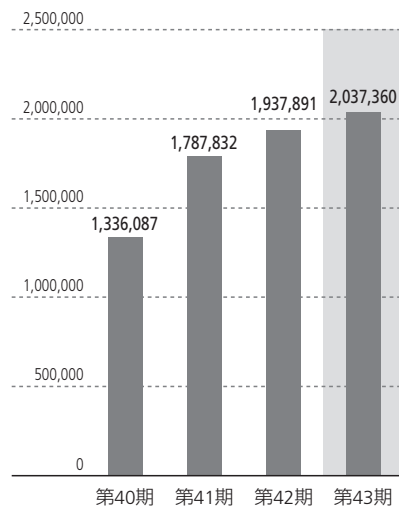
### ● 総資産

(単位：千円)



### ● 純資産

(単位：千円)



## ● 財務諸表

### 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在		平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	4,247,868	3,514,132	流動負債	3,940,557	3,654,831
現金及び預金	675,141	385,220	支払手形	1,991,378	1,664,001
受取手形	171,340	314,700	買掛金	597,608	488,686
売掛金	1,163,703	1,023,637	工事未払金	308,799	244,843
完成工事未収入金	725,619	643,998	短期借入金	—	300,000
製品	408,602	290,640	1年内返済予定の長期借入金	429,060	543,257
仕掛品	7,904	8,807	1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未成工事支出金	254,070	77,704	リース債務	3,139	12,879
原材料	557,537	461,156	未払金	93,797	107,789
繰延税金資産	63,070	84,005	未払法人税等	194,780	29,367
未収入金	108,758	143,079	未払消費税等	33,511	24,268
その他	112,565	83,782	未成工事受入金	107,747	57,228
貸倒引当金	△ 445	△ 2,601	製品保証引当金	30,474	36,272
固定資産	2,743,508	3,105,737	設備関係支払手形	14,380	15,376
有形固定資産	2,388,780	2,691,503	その他	100,879	95,859
建物	542,973	582,483	固定負債	1,013,458	1,027,146
構築物	50,856	56,310	社債	110,000	145,000
機械及び装置	167,968	211,491	長期借入金	559,430	551,860
車両運搬具	388	957	リース債務	2,016	5,155
工具、器具及び備品	43,763	31,499	退職給付引当金	330,882	311,331
土地	1,578,964	1,795,133	その他	11,130	13,798
リース資産	3,866	13,627	負債合計	4,954,016	4,681,977
無形固定資産	39,160	27,614	(純資産の部)		
ソフトウェア	17,927	5,128	株主資本	2,037,482	1,938,123
リース資産	1,043	3,548	資本金	1,266,921	1,266,921
その他	20,189	18,937	利益剰余金	786,369	686,684
投資その他の資産	315,567	386,618	利益準備金	3,071	1,535
投資有価証券	138,331	211,028	その他利益剰余金	783,297	685,148
破産更生債権等	58,109	63,211	繰越利益剰余金	783,297	685,148
繰延税金資産	11,502	15,174	自己株式	△ 15,807	△ 15,482
会員権	89,100	100,100	評価・換算差額等	△ 121	△ 231
その他	162,719	156,565	その他有価証券評価差額金	△ 121	△ 231
貸倒引当金	△ 144,194	△ 159,461	純資産合計	2,037,360	1,937,891
資産合計	6,991,377	6,619,869	負債・純資産合計	6,991,377	6,619,869

## ● 財務諸表

### 損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
売上高	10,157,767	8,839,174
売上原価	7,112,209	6,304,467
売上総利益	3,045,557	2,534,706
販売費及び一般管理費	2,452,796	2,217,208
営業利益	592,761	317,497
営業外収益	20,064	11,347
受取利息及び配当金	4,651	3,200
そ の 他	15,413	8,146
営業外費用	74,106	82,552
支 払 利 息	32,522	43,336
そ の 他	41,584	39,216
経常利益	538,719	246,292
特別利益	35,224	1,367
固 定 資 産 売 却 益	35,224	1,367
特別損失	244,807	1,421
減 損 損 失	172,000	—
投資有価証券評価損	72,807	—
固 定 資 産 除 却 損	—	1,221
そ の 他	—	200
税引前当期純利益	329,136	246,238
法人税・住民税及び事業税	189,491	24,962
法 人 税 等 調 整 額	24,607	54,778
当期純利益	115,037	166,497

### 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本			株主資本 合計
	資 本 金	利益剰余金	自己株式	
平成24年4月1日残高	1,266,921	686,684	△ 15,482	1,938,123
事業年度中の変動額				
剰 余 金 の 配 当	—	△ 15,352	—	△ 15,352
当 期 純 利 益	—	115,037	—	115,037
自己株式の取得	—	—	△ 325	△ 325
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	99,684	△ 325	99,359
平成25年3月31日残高	1,266,921	786,369	△ 15,807	2,037,482
	評価・換算差額等		純資産合計	
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成24年4月1日残高	△ 231	△ 231	1,937,891	
事業年度中の変動額				
剰 余 金 の 配 当	—	—	△ 15,352	
当 期 純 利 益	—	—	115,037	
自己株式の取得	—	—	△ 325	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	109	109	109	
事業年度中の変動額合計	109	109	99,468	
平成25年3月31日残高	△ 121	△ 121	2,037,360	

### キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,483	485,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,383	△105,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,184	△467,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289,915	△88,387
現金及び現金同等物の期首残高	362,135	450,522
現金及び現金同等物の期末残高	652,051	362,135

## ● 会社の概況

### 概要 (平成25年3月31日現在)

創業年月日 昭和40年4月10日

設立年月日 昭和46年4月26日

資本金 1,266,921,109円

主な事業内容

- (1) 金属屋根製品等の製造販売および設計施工の請負
- (2) 太陽光発電システム、屋上緑化システムの製造販売および設計施工の請負
- (3) シート防水屋根材の製造販売および設計施工の請負

従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
254名	43.0歳	12.5年

### 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 29,160,000株

発行済株式の総数 7,716,063株

株主数 376名

### 大株主 (平成25年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
船木元旦	1,986千株	25.8%
船木商事有限会社	724	9.4
船木清子	631	8.2
全国元旦代理店持株会	562	7.3
元旦ビューティ工業従業員持株会	323	4.2
関東甲信越元旦会持株会	308	4.0
日鉄住金鋼板株式会社	251	3.2
元旦取引先持株会	245	3.1
株式会社横浜銀行	165	2.1
中国・四国・九州元旦会持株会	161	2.1

(注) 持株比率については、少数点第二位以下を切り捨てて表示しております。また、自己株式(40,716株)を控除して算出しております。

### 事業所一覧 (平成25年6月27日現在)

本社	神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21
東北支店	仙台営業所、盛岡営業所、福島営業所、北海道事務所
東京支店	東京営業所、千葉営業所、高崎営業所、埼玉営業所、新潟営業所、神奈川営業所、甲信営業所
中部支店	名古屋営業所、静岡営業所、北陸事務所
大阪支店	大阪営業所、京都営業所
中四国支店	岡山営業所、広島営業所、四国営業所
九州支店	福岡営業所、熊本営業所、沖縄事務所
工場	福島工場、山梨工場、岡山工場
その他	白州技術センター

### 取締役および監査役 (平成25年6月27日現在)

地位	氏名	担当および主な職業
代表取締役会長	船木元旦	
代表取締役社長	船木亮亮	海外事業部長
専務取締役	室岡正己	管理本部長
取締役相談役	成田修一	
取締役	坂本浩	営業本部長
社外取締役	遠山一徳	
常勤監査役	長島隆夫	
社外監査役	早川治子	弁護士
社外監査役	増田一郎	

## ● トピックス

### 本願寺鹿児島別院の屋根改修工事に「本瓦棒元旦'84 (チタン瓦)」が採用

腐食に強いチタンを素材とした成形瓦屋根の「本瓦棒元旦'84 (チタン瓦)」が鹿児島市にある本願寺鹿児島別院の屋根改修工事に採用され、工事が完了しました。  
「本瓦棒元旦'84」は、当社独自の施工技術「バックキング工法」が特長です。

- ・屋根は下（軒先側）から施工するのが一般的です。勾配の急な屋根は、頂部（棟）の施工が完了するまで屋根上の足場が全面にわたり必要となり、足場の重量による躯体へのダメージや、施工済みの屋根を踏みながら工事を進めるため、屋根を汚したり、傷つける危険が伴います。
- ・「本瓦棒元旦'84」は、屋根を上（棟側）から下（軒先側）に葺く独自の施工技術「バックキング工法」のため、屋根施工用の全面足場が不要なため（※部分足場は必要）足場の重量による躯体への負担が少なく、足場の経費を削減すると共に施工済みの屋根を踏むことがないため、屋根を汚したり、傷つける心配がありません。そのため、仕上がりが非常に美しくなります。特に「神仏土足で屋根を踏まず」と神社仏閣等の施設から高い評価をいただいております。
- ・屋根を施工している際にも、桜島の火山灰が屋根に降り積ります。雨によって火山灰が軒先側に流された際には、下（軒先側）から施工する一般工法の場合は、火山灰が容易に屋根材の内部に侵入しますが、「本瓦棒元旦'84」のバックキング工法は、屋根を上（棟側）から下（軒先側）に葺くため、屋根材の内部に火山灰が侵入する恐れが大幅に軽減します。また、桟木には腐食の心配がある木材を一切使用しないため、腐食の心配がなく永年にわたり建物を守ります。
- ・「本瓦棒元旦'84」のバックキング工法は、下（軒先側）から施工する一般工法と比べ、施工済みの屋根を踏むことなく非常に安全な姿勢で施工ができます。



真似のできない直線美&曲線美



屋根を上（棟側）から下（軒先側）へ葺く「バックキング工法」は、コスト、安全、美観面に優れている

### 耐震性、耐久性、火山灰に強い、いぶし本瓦の風合いを併せ持つ新タイプのチタン瓦「本瓦棒元旦'84」

チタン製の「本瓦棒元旦'84」は、通常の瓦に比べ軽量で耐震性が向上するうえ、耐久性にも優れます。本堂は、大きく傾斜した屋根の面積が広いので、使用する「本瓦棒元旦'84」は約4万枚にのびました。通常の粘土製の本瓦と比べ、重量が約14分の1に軽減できるため、地震対策や歴史的建造物の保存に期待されています。さらに、特殊表面処理を施した耐食性に優れたチタンを使用しているため、耐久性に優れております。  
「本瓦棒元旦'84」向けに開発された、濃淡を併せ持った数色の特殊色チタンを使用しているため、いぶし本瓦の風合いをもつ屋根意匠は高い評価を得ており、今後は神社仏閣を中心に拡販を図ります。

## ● 株主メモ

### 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	定時株主総会関係 3月31日 その他、必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行 証券代行部
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載します。) <a href="http://www.gantan.co.jp/ir/index.html">http://www.gantan.co.jp/ir/index.html</a> ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

#### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行(0120-232-711)にお問合せください。



GANTAN BEAUTY INDUSTRY CO., LTD.  
本社 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21  
TEL. (0466)45-8771 FAX. (0466)45-3031

### 当社ホームページのご案内



<http://www.gantan.co.jp/>

株主・投資家の皆様のお役に立てるよう、決算情報やさまざまな会社情報を当社のホームページに掲載しております。今後とも一層の内容充実に努めてまいりますので、ぜひご参照ください。